



岩井よしえ Tel/Fax955-7340 深良 2706-2
(ブログ、ツイッター、YouTube) 岩井よしえ
yosie-820aug@purple.plala.or.jp



岡本かずえ Tel/Fax992-5174 茶畑 854-3E101
(ブログ、ツイッター、YouTube) 岡本かずえ
peace_love_cabird@yahoo.co.jp

明るい裾野

弱いひと 困っているひとの味方—直線の共産党
困ったことは岡本かずえ、岩井よしえのなんでも相談へ

2016年度予算への予算要求特集です。

7月29日に、来年度の裾野市予算・施策について高村市長に共産党裾野市議団(岡本和枝・岩井良枝)の要望書を提出しました。要望項目を掲載します。市民要望実現のために、議会質問や担当部署への申し入れなど調査・研究しながら、あらゆる機会をいかしていきます。みなさまのご意見お寄せください。

2015年7月29日

裾野市長 高村謙二 様

会派日本共産党裾野市議会議員団
岡本和枝
岩井良枝



裾野市の財政や人口実態を基に現状の雇用や社会保障のあり方、将来どのような裾野市にしたいのか、などについて市民との十分な協議を求める。

2. 市街化調整区域の高齢化率は高い。条例制定や地区計画で住宅建設を可能にする。



3. 自主防災組織の高額資機材購入に対する基金制度の創設。(単年度会計制度下では

2016年度(平成28年度) 裾野市予算・施策要望

《住民が主人公の計画を》

1. 公共施設再編計画は、「上からのマネジメント計画」ではなく「住民の声を反映させた計画」へ。幼児施設整備計画が作られ、先行モデルとして西幼稚園と西保育園の一体化・民営化の 保護者説明会や地元説明会が行われた。民営化や大規模化への不安、待機児童対策にならないことなどから合意形成はなされていない。

繰越ができないため)

4. コミュニティーセンターや公民館のリニューアルや修繕への助成制度の確立。

5. 一般家庭の家具等の固定にも補助金制度を。

東海・東南海・南海の3連動地震が危惧される中で、家庭内の家具固定対策は、地震からの災害防止や避難路の確保に役立つ。高齢者家庭だけでなく一般家庭にも拡大。



《人間性豊かな平和都市を理想として掲げる、裾野市民憲章実現の裾野市を》

1. 「非核平和都市宣言」をすることで、小・中学生の被爆地広島への訪問やパネル展示などの平和教育の推進。

2. 裾野市での自然エネルギー対策。長泉町桜堤に「ニコニコ水力1号」が設置されている。深良用水の恩恵を受ける裾野市域は長泉町よりはるかに安定して豊かな水路・河川に恵まれている。まずはこの小水力発電の裾野市内での潜在力の調査実施を。



3. 斎場建設にあたっては、直葬等が増えている現状を考え、葬儀室で通夜が行えるようにする。民間の営利ではなく人としての尊厳を最優先する。



4. 米軍ヘリより空包3発落下事件が起きた。住民の命を守り、安全・安心のために市街地（住宅地）上空を飛ばないように、2市1町で継続して申し入れすること。

《公共交通》

1. JR 御殿場線の利便性を高めるために、①増便 ②電車利用者の待ち時間改善。電車とすその一るの発着時間のつながりの改善。



《健康文化都市宣言が生きるまちづくり》

1. 裾野駅西土地区画整理事業は新道東側区域に縮小

1) 新道西側区域は、住民合意の地区計画で、長期的まちづくりを進める(修復型のまちづくり)。

- ① 今住んでる人を追い出さない。
- ② 金銭的負担をかけないこと。
- ③ 時間的負担をかけないこと。
- ④ 今あるコミュニティーを壊さず活かし、人が普通に暮らし続けることができる。その中で商店街対策も考えられる。

平成 41 年度には完成し再更新はしないとのこと。住民説明会ではただ説明するだけで、「41 年度までの具体的計画を示して」「どうしたら 41 年度までに完成するのか」の住民の声にまったく答えていない。区画整理事業は縮小して、福祉、医療の充実がいま裾野市民が求めていること。政策転換を求めます。

2) 市内の小河川、水路に「梅花藻」の咲く清流を取り戻す。



市内の河川で見かける梅花藻

3) 公共工事入札制度において適正価格での入札を推進すること。

2. 駅前に市営駐車場の建設を。裾野駅前にあった市営駐車場が廃止され市民は大変不便をしている。地元での買い物をしなくなった。

3. 大きな財政負担となる、裾野駅の橋上駅化はしない。

4. 岩波駅のバリアフリー化の推進。

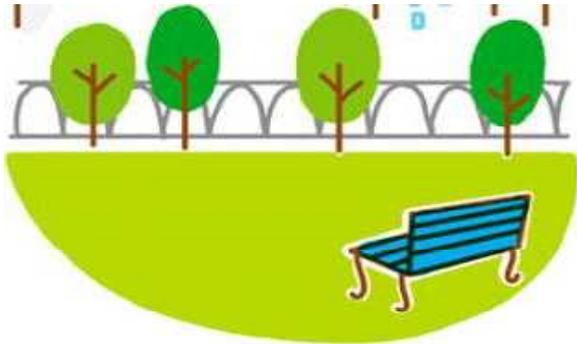
5. 公共交通が不十分または存在しない地域に住んでいる高齢者や車を運転しない人にとって、買い物・病院



・役所等に行くことは、大変不便な状態が存在している。また、最近は高齢者の交通事故が増えている。これまで取り組んできた「すそのーる」「デマンド・タクシー」の運行や「バス・タクシー助成事業」などを含め、市民の利用しやすい公共交通システムを確立させる。そのための検討・検証に早急に入る。

2. 子育て世代応援の施策強化

- ① 子どもたちが本を読む環境の整備を進めること。本への興味を持たせ、読書習慣が身につく自分で物事を考える力を培うため、全ての小・中学校に学校図書館司書を配置すること。
- ② 特別支援教育奨励交付金を元に戻し、増額を図ること。
- ③ 公立幼稚園・保育園を守り、正規職員を増やすこと。
- ④ 公立幼稚園 3 歳児入園の抽選問題を早期に解決するため、幼児施設の整備を行うこと。(南部地域に)
- ⑤ 放課後児童室の待機者問題を解決のため、施設の新設・増設を進めること。
- ⑥ 安全な通学路の整備を進めること。



- ⑦ 市民要望の多い公園の増設を図ること。また、現在ある公園の

管理・運営を市が責任を持って行い、安全・安心して利用できる公園の整備を進めること。

- ⑧ 撤去・廃止をしたローラー滑り台(小)の新設をするとともに、運動公園に幼児の遊べる遊具が欲しいとの市民要望に応えること。

- ⑨ 偕楽園(滝頭)の新たに購入した芝地広っぱに遊具の設置を。
- ⑩ VPD(ワクチンで防げる病気)の情報を把握して、将来に渡り子どもたちが健やかに成長できるよう、また医療費の削減や、仕事を休まなくてはならない親の経済損失に対応するため助成など講じること。(※日本は接種率が低いため、VPD の輸出国とも言われている)

3. 健康・医療・介護



- ① 特別養護老人ホームの入所が原則介護度 3 以上に限定されてしまった。特養に代わる計画として政府が示したのは、有料老人ホームやサービス付き高齢者専用住宅。月 15 万円～ 20 万円の利用料は高くても利用できるものではない。高齢者の住宅施策強化と在宅介護の充実、負担軽減策をとること。
- ② 誰でも安心して医療・介護が受けられるように、公的な負担軽減策の確立。
- ③ 千福が丘や青葉台・公文名 5 区の集合住宅団地は、広域下水道処理ではなく市単独の処理場とする。広域下水道事業の財政状況から、これ以上の広域下水道の拡大はすべきではない。集合住宅団地の汚水処理施設は市単独の管理で行うこと。